

第8期介護保険事業計画「取組と目標」に対する自己評価シート【区分①：自立支援、介護予防、重度化防止】

市町村名	項目名	取組テーマ (リストから選択)	第8期目標				R4年度(2022年度)実績					
			目標設定時点における現状と課題	具体的な取組	目標	計画記載 ページ	実施内容	目標達成状況・自己評価	達成 度合	課題 (目標の達成状況に関する理由や原因等)	課題に対する改善策 (R5年度(2023年度)以降)	県の支援に対する評価・要望
天草市	健康で生き生きと暮らせる仕組みづくり	1 生涯現役社会の実現と自立支援の推進(就労、いきがい、地域活動、健康づくり、自立支援ケアマネジメント、介護予防、見守り)	高齢者人口に大きな変動はないものの、若い世代の急激な減少により、今後も高齢化率の上昇が見込まれる。反面、高齢者の高齢化や高齢者のみ世帯の増加により、支援を要する高齢者の増加も予測され、専門職サービスの供給量は減少するものの需要は高まることが予測される。このような将来像を見据え、支援を要する高齢者が増加しないようにする「介護予防」と、自動活動や互助の推進など「地域で支える体制づくり」が必要となる。	介護予防の拠点がなく、または拠点を必要とするエリアに対し、通いの場やふれあいいきいきサロン等の拠点創設の推進を継続しつつ、地域で住民自ら介護予防に取り組む、かつ拠点の中で助け合い活動に繋がるよう既存グループへの支援を行う。	週1回以上集まり介護予防活動に取り組む高齢者の割合が、高齢者人口の1割以上となる活動量(参加者数)を維持する。	P60-63、 P74-75	・地域介護予防活動がない地域や、介護予防の啓発が必要な地域を選定し、普及啓発活動(地域元気アップ教室)を実施。 ・既存活動の継続支援として、集合型現地支援(通いの場等パワーアップ教室)、リハ職現地支援(個所)、包括支援センターの後方支援等を実施。 ・新たな予防メニューの提供としてリーダー研修会(いきいき健康教室)を開催。メニュー提供にあたっては、地域の専門職団体と連携し、フレイル予防としての口腔・栄養、認知症予防など多角的な介護予防の視点を取り入れ実施。	令和4年度末時点で、週1回集まり介護予防に取り組む団体は277箇所、65歳以上の参加者数は3,302人。(令和4年度の目標値3,150人を達成)	◎	これまでの啓発活動より新たな場の創出に繋がり、集える場が市内各地に広がっているが、新型コロナウイルス感染症の影響での参加者減少や担い手不足により、活動を廃止する団体も見られるようになっている。今後は、「生み出す支援」から「続ける支援・参加促進」へ支援のウエイトをシフトしていく必要がある。	これまでの各種取り組みを継続しつつ、要介護状態になるリスクが高まる85歳に到達する前に、ライフステージに応じた総合的な啓発を行い、健康意識の向上と介護予防活動への参加促進を図る。また、これまでの行政や地域包括支援センターが主催する啓発活動から、地域組織で取り組む啓発活動への発展を図るため、まちづくり組織や老人会等既存の地域組織と協議を進める。	自治体で試行錯誤しながら取り組みを展開しているため、県内各自治体の好事例や課題、新しい取り組み等の情報提供を引き続きお願いしたい。
天草市	健康で生き生きと暮らせる仕組みづくり	1 生涯現役社会の実現と自立支援の推進(就労、いきがい、地域活動、健康づくり、自立支援ケアマネジメント、介護予防、見守り)	全国的には2025年に高齢者の5人に1人が認知症と言われているが、本市では既に4.87人に1人と全国の将来予測を超えている状況にある。また、新規要介護認定者の半数以上が日常生活に支障を来す程度(Ⅱa以上)の認知症であり、かつ主傷病も認知症が最も多くなっている。元気な頃からの認知症予防と軽度時期における重症化防止の取組み、及び地域での見守り体制づくりが重要となる。	住民の協力により地域における認知症予防活動の場の拡大、及び認知症の知識を深めた住民を市内各地に増やし、活動者のみまもり体制づくりを推進する。	地域における認知症予防活動の実践及びみまもり活動を行う「脳いきいきサポーター」を養成し、活動者を8割以上、活動の場を140箇所とする。	P64、 P66-68、 P79	・市主催により「脳いきいきサポーター養成講座」を実施。(2地域、各8回講座) ・市主催により過去に養成したサポーターを地域活動実践に繋げるためのフォローアップ講座を実施。(4地域、各3回講座) ・地域包括支援センターの主催によるサポーター交流会や座談会を実施。 ・この他22地域での現地支援、活動自粛時に活用する宿題メニューの提供等を実施。	・サポーターを新規に58人養成。 ・累計429人(目標:400人) ・活動実践者は343人(目標:320人) ・活動率80%(目標:80%) ・サポーターが活動する地域活動の場は235箇所。(目標:130箇所) ・いずれも目標を達成するに至っており、住民の協力により、身近な地域で元気な頃から認知症予防に取組める場の拡大が図れた。	◎	これまで通いの場を対象にサポーター養成と活動実践につなげる取り組みを展開していたが、ふれあいいきいきサロンも養成の対象に加えたことで、サポーターの活動実践の場が市内各地への広がっている。また、住民意欲の高さに加え、地域包括支援センターによる活動実践に向けた後方支援ができるような視点を持って内容を順調に取り組むが展開できているものの、今後の事を考えると若い世代への養成も進めていく必要がある。	地域介護予防活動と同様に担い手確保が課題となってきたため、ライフステージに応じた総合的な啓発の中でサポーター養成の啓発も合わせて行い、次世代の担い手確保を進める。また、サポーターが地域活動や日常生活の中で早期発見や適切な支援への繋ぎができるような視点を持って内容をフォローアップに盛り込み、認知症予防活動の実践にとどまらず見守りまで活動の幅を広げる取り組みを進める。	自治体で試行錯誤しながら取り組みを展開しているため、県内各自治体の好事例や課題、新しい取り組み等の情報提供を引き続きお願いしたい。

第8期介護保険事業計画「取組と目標」に対する自己評価シート【区分②：介護給付費等費用の適正化】

市町村名	取組テーマ	取組目標	第8期計画における数値目標	R4年度(2022年度)実績							
				点検件数等(分子)	点検対象件数等(分母)	達成率(%)	達成度合	実施内容	課題(目標の達成状況に関する理由や原因等)	課題に対する改善策(R5年度(2023年度)以降)	県の支援に対する評価・要望
天草市	1. 要介護認定の適正化	その他(全ての認定調査の点検)	点検率100% 点検数/申請(調査)件数	4,650	4,650	100.0%	◎	・保健師による認定調査の全件点検を実施している。	・専門職の減により、保健師による点検体制の確保が難しくなってくる。	・介護認定調査指導員を配置し、認定調査の精度管理及び調査員研修の充実を図り、認定調査の適正化を推進する。	
天草市	2. ケアプラン点検	居宅サービス利用者のケアプランの点検	点検率10% 点検数/居宅介護(予防)サービス受給者数(3月月報)	392	3,353	11.7%	◎	・苦情相談等があったケースや有料老人ホーム入居者の他、区分支給限度額に対する利用割合が高い事業所のケアプランを中心に点検。また、地域ケア会議におけるケアプラン点検も実施。	・点検に要する時間及び人員の確保、業務の継続性の確保(点検人員確保、経験者の異動等)	・ケアプラン点検に関する研修の受講。 ・ケアプラン点検に係るノウハウの蓄積、担当以外にもケアプラン点検にかかわる機会を設ける等の体制見直しを行う。 ・専門職と連携したケアプラン点検体制の構築。	・ケアプランアドバイザーの派遣事業、ケアプラン点検委託モデル事業等の継続、研修会の開催を希望。 ・ケアプラン点検ガイドラインの活用方法等の研修。
天草市	3. 住宅改修の点検	住宅改修の施行前点検	点検率100% 施工前点検数/住宅改修件数	527	527	100.0%	◎	・事前申請書等を基に施工前点検を全件実施。 ・施工後の施工箇所等を、支給申請時に全件確認。	・件数も多く、点検に時間を要する。 ・専門職による点検への関与について検討が必要。	・効率的な点検に向けてマニュアル・体制の見直しを行う。	・好事例の紹介
天草市	4. 福祉用具購入・貸与調査	その他(福祉用具購入の点検)	点検率100% 点検数/申請件数	552	552	100.0%	◎	・福祉用具購入支給申請時に、福祉用具計画書等、全件書類点検を実施。 ・計画作成担当者に対するリハ専門職の派遣等でケアプラン・福祉用具計画書作成時における支援体制を構築。	・件数も多く、点検に時間を要する。 ・専門職による点検への関与について検討が必要。	・専門職による関与について、検討を行う。 ・効率的な点検を行えるようマニュアル・体制の見直しを行う。 ・計画作成時のリハ職派遣等、サービス実施にあたり、リハ職の関与の仕組みの継続。	・好事例の紹介。
天草市	5. 医療情報突合・縦覧点検	医療情報突合の実施	全月点検	全月(12月)実施	-	-	◎	・国保連から提供される帳票について、提供を受けた帳票全月分の点検を実施。隔月で提供される確認情報も点検を実施。 ・国保分については、医療側からの点検のため、国保担当課に情報提供を実施。 ・集団指導において、過誤事例等を説明。	・業務の継続性の確保(点検人員確保、経験者の異動等)	・国保連の適正化支援システムマニュアルや研修会を参考にしつつ、本市独自に作成したマニュアルについて、点検事例を蓄積し、定期的にマニュアルの見直しを行う。 ・複数名で行う点検体制を構築し、担当帳票を入れ替える等取り組む。	・今後も、研修会等支援の継続を要望する。 ・各帳票ごとの点検事例の紹介。効率的な点検のための好事例の紹介等。
天草市	5. 医療情報突合・縦覧点検	縦覧点検の実施	全月点検	全月(12月)実施	-	-	◎	令和4年度に国保連より提供のあった縦覧点検10帳票の内、未出力(本市において独自報酬の設定なし)の「独自報酬算定事業所一覧表」を除く全帳票の全月分を点検実施。集団指導において、過誤事例等を説明。	・業務の継続性の確保(点検人員確保、経験者の異動等)	・国保連の適正化支援システムマニュアルや研修会を参考にしつつ、本市独自に作成したマニュアルについて、点検事例を蓄積し、定期的にマニュアルの見直しを行う。 ・複数名で行う点検体制を構築し、担当帳票を入れ替える等取り組む。	・今後も、研修会等支援の継続を要望する。 ・各帳票ごとの点検事例の紹介。効率的な点検のための好事例の紹介等。
天草市	5. 医療情報突合・縦覧点検	活用帳票・チェック項目の明確化	全帳票(国保連から提供された全帳票)	9帳票	-	-	◎	令和4年度に国保連より提供のあった縦覧点検10帳票の内、未出力(本市において独自報酬の設定なし)の「独自報酬算定事業所一覧表」を除く全帳票の全月分を点検実施。集団指導において、過誤事例等を説明。	・業務の継続性の確保(点検人員確保、経験者の異動等)	・国保連の適正化支援システムマニュアルや研修会を参考にしつつ、本市独自に作成したマニュアルについて、点検事例を蓄積し、定期的にマニュアルの見直しを行う。 ・複数名で行う点検体制を構築し、担当帳票を入れ替える等取り組む。	・今後も、研修会等支援の継続を要望する。 ・各帳票ごとの点検事例の紹介。効率的な点検のための好事例の紹介等。
天草市	6. その他(介護給付費通知)	その他(介護給付費通知)	1回	1	1	100.0%	◎	国保連に作成を委託した「介護給付費通知」を6月に5,590件送付。	・効率的な実施に向けた実施方法の検討 ・通知記載内容の周知・説明。	・同封パンフレットや、窓あき封筒の活用等効率的な実施に向けた検討・見直しを継続していく。	・好事例の紹介。